

フォークリフト災害を防ぐために

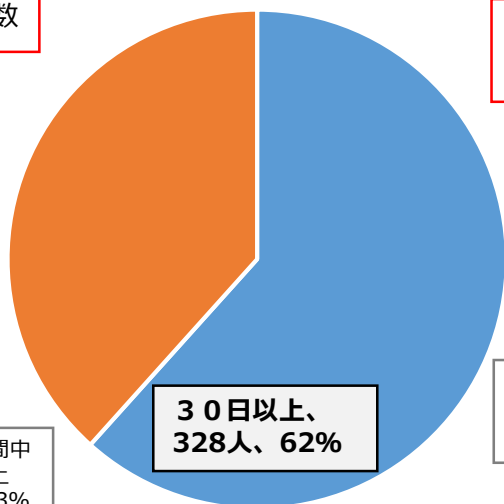
13次防期間中に532人のフォークリフトを起因とする休業災害（休業4日以上）が発生しました。特に、作業経験が短い労働者が増加傾向です。

また、フォークリフトは荷役作業に欠かせない便利な機械ですが、フォークリフトの使用について正しく理解せず、身勝手な使い方を行わせた結果、死亡・重篤な災害が発生しています。

そこで、職場においては法令を順守し、フォークリフトを正しく安全に使用していただくよう**チェック項目**の確認をお願いします。

13次防期間中（H30～R4）にフォークリフトを起因とする労働災害

休業日数

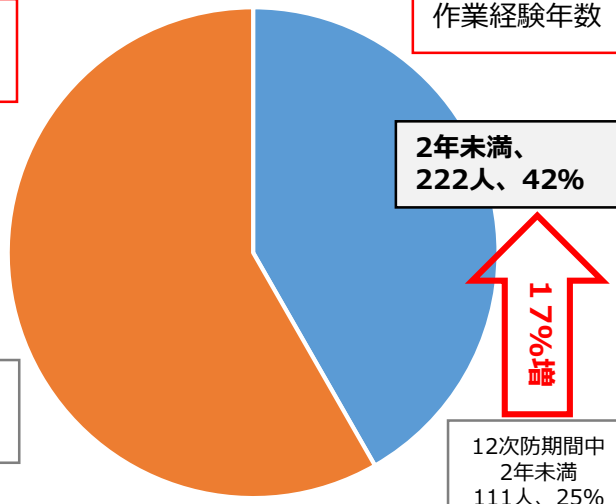


休業災害
532人

↑
19%増

12次防期間中
休業災害
446人

作業経験年数



2年未満、
222人、42%

↑
17%増

12次防期間中
2年未満
111人、25%

チェック項目

- | チェック項目 | ☑ |
|---|--------------------------|
| ① 作業内容、場所、運行経路及び作業方法について適切な 作業計画 を策定している。 | <input type="checkbox"/> |
| ② 作業計画を元にフォークリフトの運行方法、安全通路の確保、立入り禁止区域、誘導などの連絡調整を密に行っている。 | <input type="checkbox"/> |
| ③ フォークリフト作業の危険性について安全教育を行い、理解させている。 | <input type="checkbox"/> |
| ④ フォークリフトの運転は、必ず 資格者 が行っている。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ フォークリフトの作業場所への労働者の立入りを禁止している（又は誘導者を配置している）。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ フォークリフトは定められた用途以外の作業に使用することを禁止している。
➢ パレットに人を乗せ、フォークリフトで昇降させない。
➢ フォークに荷物を吊り下げて運搬しない。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑦ 作業日ごとに作業開始前の点検を実施している。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ 定期（特定）自主検査（1年ごと・1か月ごと）を実施している。記録は3年間保存している。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ 運転位置から離れるときはフォークを最低降下位置に置き、エンジンを止め、「エンジンキー」を抜き、ブレーキを確実にかけている。 | <input type="checkbox"/> |

フォークリフト災害を防止するため、

- 事業者・管理監督者は、労働者任せにしない。
- 労働者は、社内のルールを守る。

作業計画を基に 凡事徹底、安全作業！

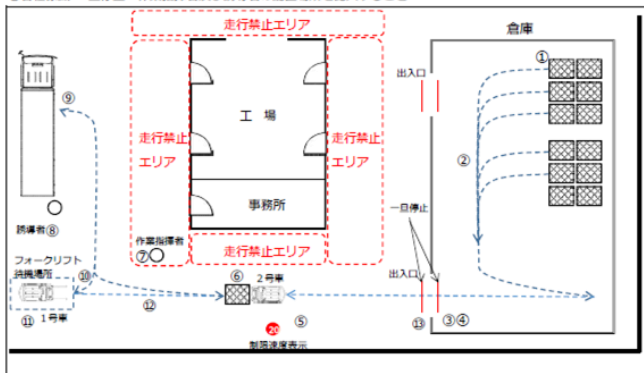
作業計画様式例

(労働安全衛生規則第151条の3に基づく)

社内審査 確認印	事業主	安全管理者等	作業主任者	リフト運転手
	印	印	印	印

1.作成年月日	令和4年6月1日	2.計画作成者	福岡 東男	3.作業名	大豆コンテナのトラック積込作業
4.作業の具体的内容 (他の運搬工程等)	①倉庫コンテナ取り下ろし②バック走行③旋回エリアで方向転換④倉庫出口一旦停止(ミラー確認)⑤前進走行(制限速度遵守)⑥作業指揮者指示確認の右折⑦誘導者指示確認⑧トラック積み込み⑨バック走行⑩待機場所へ⑪別リフト通過後倉庫へ前進走行⑫倉庫入口一旦停止(ミラー確認)				
5.実施期間	令和4年7月1日		～	令和4年12月31日	
6.作業人数	5名				
7.作業時間	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24				
8.荷	品名	荷姿	形状	個数	1個の重量
	大豆	箱(コンテナ)	四角柱	1回当たり20個	1.5 t
9.荷の状況	イ、はい積	ロ、バラ積	ハ、その他	移動させる距離 30 m	
10.作業指揮者 (安衛則第151条の4)	氏名	職制上の地位	当該作業の経験年数	フォークリフトの知識	
	香根 花子	職長	20年	○・無	
11.フォークリフトの運転者	氏名	技能講習修了番号	資格取得年月日	当該作業の経験年数	
	種屋 太郎	第1234号	平成22年12月17日	11年6ヶ月	
12.フォークリフトの種類・能力・点検状況	車両番号	能力(最大荷重)	作業開始前点検	月例点検実施日(安衛則第151条の2)	特定自主実地実施日(安衛則第151条の21)
	GTR-5837(1号車)	2100 kg	始業時	毎月末日	令和4年4月1日
13.リフト等の能力・点検状況	荷の重量に応じた十分な強度		割れ・ひび・変形の有無	釘等突起物の有無	
	○・否		○・否	○・否	
14.作業場所状況 作業図に必要に応じて記入する	作業場の広さ	イ、十分に広い		ロ、広い	
	路面状況	イ、舗装		ロ、砂利	
	坂道等傾斜	有・○		作業床面段差等	
	走行路幅員狭小箇所	有・○		高さ制限箇所	
15.制限速度 (安衛則第151条の5)	当該作業に係る場所の地形・地盤の状況等に 応じた適正な制限速度		当該作業場所における制限速度揭示の有無		
	20 km/時		○・無		
16.誘導者	配置の有無	氏名	合同の定め	退避場所	
	○・無	種屋 三郎	○・無	○・無	

- 17.フォークリフト作業図
- ①フォークリフトの走行経路を明示すること
 - ②周辺労働者の立入禁止箇所及びフォークリフトの走行禁止箇所を具体的に記載すること
 - ③各種標識・一旦停止・作業指揮者及び誘導者の配置場所を記入すること



18.作業開始前・作業中の留意事項と確認(この欄はフォークリフト運転者が記入)

留意事項	確認
①保護帽・安全靴等保護具を正しく着用する	✓
②シートベルトを着用する	✓
③フォークリフト運転技能講習修了証を携帯する	✓
④作業開始前点検を確実に実行	✓
⑤作業場で定められた制限速度以内で走行する	✓
⑥他の作業者に接触するおそれのあるときは、立入禁止にするか、誘導者を配置する	✓
⑦走行時は、進行方向及び側方の安全を常に確認する	✓
⑧フォークまたは荷の下に作業者を立ち入らせない	✓
⑨許容荷重を超えた荷を積載しない	✓
⑩急発進・急停車・急旋回をしない	✓
⑪運転席を離れるときは、作業や通行の障害とならないよう駐車する。鍵を必ず抜くこと。	✓
⑫駐車ブレーキを確実にかけ、輪止めをする	✓
⑬運転中は乗車席以外に人を乗せてはならない	✓
⑭フォークの上の人に人を載せて昇降機として使用してはならない	✓
⑮フォークの先端をてこ代わりに使用したり、他の車両を押したりしてはならない	✓

19.関係労働者への周知

サイン欄	誘導者	リフト運転手	トラック運転手	工場作業者	事務員	倉庫作業者



作業計画様式例 等



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

職場の安全を応援する情報発信サイト/
職場のあんぜんサイト